

令和8年度第2回 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画懇話会会議録

日 時 令和8年9月15日（火） 13:30～15:00

場 所 1階 101会議室

委 員 塚本 松本 宮田 福島 今井 三輪 鈴木 坪井 松浦 神取 高橋 中根 近藤

事務局 加藤直 杉浦 木下 新實 磯村典 前 平野 加藤貴 磯村真 荒井 羽田野
喜田 山田

刈谷市基幹型地域包括支援センター 加藤桂

株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所 江口 門澤

意見・質疑等

1 開会

2 会長あいさつ

3 議題

（1）令和7年度介護保険・高齢者福祉関係事業の決算について（資料1）

【説明】 事務局

【質疑応答】

会 長 一般会計の表内の高齢者外出促進事業の支出が減少となっているのはなぜか。

事務局 令和5年度と令和6年度に「お出かけキャンペーン」を実施したが、令和7年度は実施しないこととしたため、減少となっている。

（2）介護保険サービス事業所の指定等について（資料2）

【説明】 事務局

【質疑応答】

・特になし

（3）高齢者福祉サービスの利用状況について（資料3）

【説明】 事務局

【質疑応答】

会 長 配食サービスが広まったことは良いが、食事は毎日必要である。今後の検討事項として、365日分対応できるようになるとより良いと考える。週に2～3日から、毎日に変わってきている自治体も多い。

- 委員 高齢者福祉サービスの情報は、どのような仕組みで得ることができるのか。相談窓口として対応している人のレベルによって、利用件数が変わってくるのではないかと。
- 事務局 各地区にある地域包括支援センターにある高齢者の総合相談窓口において、豊富な知識をもつ職員が必要なサービスにつなげている。また、要介護認定を受けた人には、ケアマネージャーがその人に合ったサービスを紹介している。
- 会長 制度自体の存在を一般高齢者はキャッチしにくい。介護保険制度が始まる前は福祉サービスしかなかったが、これらは申請主義であった。近年は所得に関係なく様々なサービスが利用できるようになってきたが、まだあくまで申請主義である。総合相談窓口が積極的に介入し、より良い生活につなげるためにサービスを利用していただけると良い。
- また、サービスに関して、周知や情報提供が重要である。地域包括支援センターについても、認知度は上がっているとはいえ、実際に自分が必要にならないと知る機会がない。老人クラブなどに職員が出向いて説明をするなど、周知を繰り返し行うことが大切である。
- 委員 ①の携帯型機器について、携帯のような機械は高齢者には負担が大きく、説明しても使用をあきらめる人が多い。④と⑤は冷蔵庫に保管する運用であるが、冷蔵庫が一杯の高齢者も多く、結局どこに置いたのかわからなくなる場合も見受けられる。良い制度なので、配付して終わりではなく、有効に活用できるように利用者の声も拾い上げ、改良してもらえるとありがたい。
- 事務局 貴重な意見をいただき、感謝する。見守りに関する機械は色々開発されているため、今後も継続して研究していく。
- 会長 何事も、目的・目標をもって実施し、評価をしていく必要がある。制度やサービスは変化していくものと捉え、繰り返し意見を聴き、効果的なものに変更していくことが重要である。関係者間で調整しながら、より良いものにしていただきたい。
- 委員 実際に、利用者へのアンケートなどはとっているのか。利用者数をまとめるだけでなく、受講者意見等の評価をもとに、発展させる、他のサービスを始めるなど、検討を進めていただきたい。
- 会長 行政だけでなく、関係機関と協力して取り組めると良い。

(4) 地域密着型サービスの利用状況について（資料4）

【説明】 事務局

【質疑応答】

- 委員 (3) 地域密着型通所介護の「デイサービスおかげ庵刈谷」の7月が「-」になっているのはなぜか。また、(4) 認知症対応型通所介護の人数が少ないが、単独では経営が成り立たないように思う。実際のニーズはどのようなものであるか。

事務局 「デイサービスおかげ庵刈谷」は、管理者が急遽退任し、後任者の選定のため、休止の届出があったが、1か月で新任が決まり再開したので、7月のみ「-」となっている。
認知症対応型通所介護について、「認知症対応型デイサービスさくら」は、営業時間の短縮により、利用ニーズに対応できなくなったのが要因だと思われる。「愛の家デイサービス刈谷野田」については、併設するグループホーム入所の前段階としての需要があるのではないかと考えているが、現状は利用者が2人、週1と聞いている。なお、両者とも別のサービス種別事業所を併設している。

会 長 グループホームは、来年度36床受け入れ可能になる予定である。家族の方の中には、仕事帰りに施設に立ち寄って帰る方もおり、今後は入所と言いつつも、地域密着型サービスが広がっていくのではないかと考えている。

(5) 要介護認定状況等について（資料5）

【説明】 事務局

【質疑応答】

・特になし

(6) 第10期刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画骨子案について（資料6）

【説明】 事務局

【質疑応答】

・特になし

(7) 地域包括支援センターについて（資料7）

【説明】 事務局

【質疑応答】

・特になし

4 その他

事務局 次回の懇話会は令和8年11月10日（火）13時30分を予定している。

本日差し替えを行った資料について、事前に送付した資料が不要な場合は事務局で回収する。

5 閉会

会 長 本日の議題については、これですべて終了した。これにて令和8年度第2回の刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画懇話会を閉会とする。